



報道関係者各位

2023年2月28日
発信 NO.00016

News Release

千葉県芝山町との地域活性化包括連携協定の締結 全国の学校団体を対象としたスカイパークしばやま「そらまなキャンペーン」を実施 ～成田空港の更なる機能強化を踏まえた協働取り組みについて～

株式会社JMRS(本社:東京都新宿区、代表取締役:中鉢真輔、以下JMRS)は、本日、千葉県芝山町(町長:麻生孝之、以下芝山町)と協定を締結し、町の活性化及び町民サービスの向上のため、相互に連携を強化し、取り組んでいくこととなりました。

成田空港の更なる機能強化が進む今を、まちづくりの絶好機と捉え、JMRSは芝山町との強固な連携により、今後様々な取り組みを打ち出して参ります。

本協定の内容は、観光振興、教育支援、地場産業振興、地域事業創出等と、多岐にわたりますが、その中でも特に、JMRSが昨秋よりスタートさせた、町の観光拠点「スカイパークしばやま」に、全国の中学生・高校生を呼び込み、航空・空港に関する学びの機会を提供する、いわゆる「航空教育の聖地」化構想について、更に連携を強化します。成田空港の第3滑走路が2028年度末に完成する将来に向けて、航空人財の確保につながる「航空教育」を、関係者の協力を得ながら、町と共に進めることにより、町・地域のブランド力を高め、交流人口を増やし、町民の誇りを醸成して参ります。本協定の締結にあたり、芝山町とJMRSは、航空人材の育成を通じたまちづくりのため、今後、航空教育協会(仮称)設立に向けた検討を開始することを確認しました。

また、本協定締結による施策第一弾として、「スカイパークしばやま『そらまなキャンペーン』」を実施します。内容は、全国から「スカイパークしばやま」にお越しなる学校団体のうち、空飛ぶ学び舎ラボでの講座を受講(キャリア講座)、又は、空飛ぶ学び舎弁当を注文し、パーク内の航空科学博物館・風和里しばやま等の施設を周遊する、小学校・中学校・高校団体を対象として、お1人当たり費用補助をします(後日詳細発表)。予約は、本年4月3日(月)より受付開始とし、本年5月1日以降の先着10,000名を対象とします(既に予約済の該当団体も適用)。

キャンペーンの詳細は空飛ぶ学び舎ラボホームページ(<https://www.soramana.com>)にて近日発表させていただきます。

JMRSは芝山町と共に、「航空教育の聖地」化をはじめ、町の活性化・町民サービスの向上、まちづくりのため、今後様々な取り組みを推進して参ります。



2023年2月28日(火)協定締結式にて



地域活性化包括連携協定書

【協定内容】

- ①スカイパークしばやまを起点とした地域・観光の振興に関する事
- ②航空人財の育成に関する事
- ③航空関連企業の創出に関する事
- ④国際理解・異文化理解の促進に関する事
- ⑤地場産業と保有資源の活用に関する事
- ⑥地場産品の販売拡大に関する事
- ⑦その他、地域の活性化及び町民サービスの向上に関する事。

千葉県芝山町について

成田空港南側に隣接する地方自治体。人口6,905人、世帯数3,020世帯(2023年1月1日現在)
農業を基幹産業としつつ、空港に接していることから工業・物流系企業が多く進出している。

株式会社JMRSについて

2015年、航空機チャーターに専門特化した旅行会社として設立し、大型旅客機を中心とした国内外発着のチャーター機手配に取り組んで参りました。「チャーター機活用による新たな移動ソリューションの提供」をモットーに今後も様々な取り組みに挑戦して参ります。昨年11月、スカイパークしばやまにある航空科学博物館敷地内に「空飛ぶ学び舎ラボ」をオープンさせ、航空・空港を活用した様々な航空教育プログラムを提供しております。

※本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会・文部科学記者会・成田空港記者会・成田空港民放クラブ
千葉県県政記者室に配布しております。

<お問合せ先> 株式会社JMRS 総務担当 電話:03-6265-0256 E-mail: info@jmrs.jp